

臨床運動器【Stage 1】

1. 実習の基本方針（目的・到達目標）
 - （1）骨・関節・筋肉などの運動器疾患の基礎的知識を習得する。
 - （2）病歴・所見より考えられる疾患鑑別の能力を養う。
 - （3）疾患を理解した上での治療法の選択を考える。
 - （4）患者さんへの対応、病状説明や承諾を得る方法を習得する。
2. 実習の方法（内容・行動指針）
 - （1）病棟での症例受け持ち、担当症例についての考察
 - （2）回診、病棟での処置
 - （3）ギプス包帯固定などの手技体験
 - （4）手術見学
 - （5）術前・術後のカンファレンス
 - （6）X線カンファレンス
 - （7）外来診察（ポリクリ）
 - （8）抄読会
 - （9）病理組織像の検討
3. 実習上の注意事項
 - （1）機能解剖学と授業で習ったことを復習して実習に臨むこと。
 - （2）授業ノートと教科書を持参すること。
 - （3）集合時間を厳守すること。
 - （4）患者さんとの対話能力を養うこと。
 - （5）可能な限り時間を見つけ病室を訪れ患者さんと接すること。
4. 「医学生の実習における医行為と水準」の例示
 - （1）レベルⅠ：指導医の指導・監視の下で実施されるべき
全身の診察、バイタルサインチェック、創消毒、包帯交換、縫合、抜糸、ギプス巻き助手、ギプスカット、注射（皮内・皮下・筋肉・静脈）、手術助手（人工関節以外）
 - （2）レベルⅡ：指導医の実施の介助・見学が推奨される
関節穿刺、神経ブロック注射、脊髄くも膜下穿刺、人工関節手術助手、病状説明（患者・家族）

【スケジュール】第1週

	7:00	8:00	8:30	8:50	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
月		病棟医長回診 オリエンテーション			レクチャー 手術見学					ミエログラフィー見学 病棟実習 手術見学 レクチャー				
火		朝カンファ			手術見学 病棟実習					手術見学 病棟実習				
水		朝カンファ			外来実習（ポリクリ） 手術見学					手術見学 病棟実習 レクチャー				
木	術前 検討会	教授回診			手術見学 病棟実習 レクチャー					縫合実習 病棟実習 レクチャー				
金				外来実習					手術見学					

第2週

	7:00	8:00	8:30	8:50	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
月		別府発達医療センター実習 (8:30 別府発達医療センター 総合受付集合)			移動 食事					手術見学 病棟実習 レクチャー				
火		朝カンファ			手術見学 病棟実習					手術見学 病棟実習				
水		朝カンファ			外来実習					手術見学 ギプス実習 レクチャー				
木	術前 検討会	教授回診			手術見学 病棟実習 レクチャー				レクチャー	総括（担当症例に ついて）				
金				外来実習					手術見学					

第1週の月曜：8:00 カンファレンス室集合、火曜：8:00 2階新病棟集合、
水・金曜：8:50 外来集合、木曜：7:00 リハビリテーション室集合
レクチャーはカンファ室集合